



平成26年6月号

祇園中学校だより

校訓 「誠実」 「勤労」 「奉仕」

こだま

研して山ほととぎすほしいまま 杉田久女

学校周辺の田んぼでは田植が始まり、畑ではナスなどの夏野菜を見かけるようになりました。入梅（今年は6月11日が入梅です。）以降、梅雨の季節となります。約一ヶ月間ほど雨が続き、蒸し暑くじめじめする時期になりますが、植物には恵みの雨となり、植物が最も生長するときです。

1年生は学校生活にも慣れ、初めての定期試験（5月28日、29日）に挑戦しました。2年生は高校説明会、基礎基本定着状況調査が予定されています。3年生は真剣な表情で進路説明会（5月12日）に臨み、これから、職場体験に向け取組を開始します。また、部活動では全国大会につながる市選手権大会が本格的に始まります。

竹はこの時期、柔らかい竹の子から、しなやかな竹に一気に生長します。竹の種類によっては1日で1m以上伸びていくそうです。竹が生長するためには、今まで身につけていた皮を次々と脱ぎ、さらに、折れることがないように節をつくる必要があります。

6月は前期の折り返しの時期です。6月が成長の節目となり、新たな自分づくりの起点となって欲しいと思います。今までの自分を一皮むくには大きな努力が必要です。努力の度合いが、節目の強さにつながります。自分の可能性を信じ、何事にも粘り強く取り組むことに期待します。

野外活動（1年） 5月17日（土）～19日（月）

国立山口徳地青少年自然の家で行われた野外活動では、5つの目標（「集合の成功、10分前行動、5分前完了」「みんなと協力して考えて行動する」「授業と同じ！けじめをつける」「ルールはしっかり守る」「まわりに迷惑をかけないように注意し合う」）達成を目指しました。

天気に恵まれ、すべての活動を予定通り行うことができました。生徒達はTAP（徳地アドベンチャー教育プログラム）、焼板細工、学習&長縄などの体験を行いました。夜は、リーダー中心にゲームを行ったり、フォークダンスを踊ったりしました。



生徒達は全ての活動に真剣に取り組み、活動を通して、仲間との信頼感や協調性を育み、さらに、困難な課題を解決することで達成感を味わうなど、学校では得られない貴重な体験をすることができました。今後の仲間づくりや学級づくりなど、学校生活の向上につながるよい機会となったようです。野外活動で学んだことを、今後の学校生活に生かして欲しいと思います。